

Go for 3 E ! ~西陵生のみなさんへ校長メッセージ~

“スタサポ”から“スタサブ”へ Vol. 2

三田西陵高校ではBYODで一人一台タブレット(Chromebook)を持つようになった2年生から(株)リクルートのスタディーサプリを活用しているという話は10月号でした。今回はそのスタサブを深掘りしていきます♪

三田西陵の「取り組み状況」をチェックして、どのフェーズにあたるか考えてみましょう。

① 学習習慣 未定着フェーズ

一部の学習習慣・意欲のある生徒(1~2割)が取り組む。

② 言われたらやるフェーズ

「課題はやらないといけない」という意識ができ、習慣化。とはいっても、作業化している部分もある。

③ 習慣化・学習フェーズ

「やること」でなく、「理解・定着」が目的となり、取り組みが学習になっている。かつ、習慣化できている。

④ 目的意識獲得→自立フェーズ

学習の仕方が理解できたり、自らの目的意識を獲得した瞬間、自立して最適な学習に取り組める。

＜スタサブ導入の目的＞

進研模試等ではこれまでどおり(株)ネッセコーポレーションにお世話になります

- 西陵生一人ひとりの正確な学力を把握し、個に応じた学習サポートを実現していくことで、学習内容の定着度が高まる。
- 一斉授業ではカバーしきれない西陵生一人ひとり違う「わからない」箇所を休暇期間や週末で復習することで「わかる」楽しさが実感できる。
- タブレット(Chromebook)に入っているスタサブのコンテンツを使いこなすことで、自分にあった家庭における学習習慣を身に付けることができる。

＜スタサブの活用例＞

日々の授業範囲から難関大学入試レベルまで豊富な講義動画

- 到達度テスト(年2回)→結果に連動した課題配信機能を活用
※自分の弱点箇所をふまえた事後学習(講義動画視聴)をすることができる!
- 到達度テストの結果レポート及び学習習慣アンケートを先生との面談で活用
- 宿題配信による週末課題(講義動画・WEBテスト)
- 長期休暇中の課題(講義動画・WEBテスト)
- テスト対策教材(定期テストや実力テストに向けたおすすめ視聴動画の提示)

先生方は、西陵生のフェーズに合せたスタサブの活用方法を、(株)リクルートの担当の方と一緒に日々考えています。

大事なことは、タブレットに入っているスタサブの数々のコンテンツを、あなたに合った方法で主体的にどんどん使いこなしていくのかどうかということです。

スタディーサプリ 6,120円/年 を生かすも殺すもあなた次第!!!

授業公開週間

11月6日(月)~17日(火)

「どの生徒にもわかりやすい授業のユニバーサル化」、「生徒がタブレット端末を利用した授業」をテーマに公開授業を実施します。

先生方がお互いに授業を見学して、授業力をアップします!

11月号

三田西陵高等学校

笑顔

夢

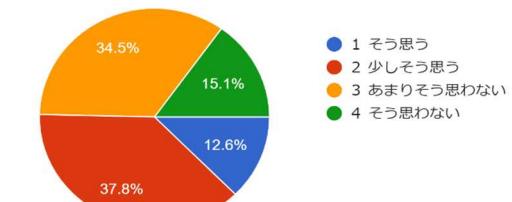
プロジェクト

＜質問コーナー＞

【Q】“スタサブ”導入の決め手は何ですか？

【A】一番の決め手は「西陵生にピッタリな学習サポートツール」だからです。それではどこがピッタリなのか？ みなさんは「令和の日本型教育」というワードを聞いたことがありますか？ そこで大事になってくるキーワードが「個別最適な学び」と「協働的な学び」です。西陵生一人ひとりの「個別最適な学び」が実現できるツールとして“スタサブ”がピッタリ！ だと導入を決めました。次の図は昨年度の「生徒アンケート結果」です。あなたの現在の姿は何色ですか？ そして何色に変えていきたいですか？

家庭において学習習慣(予習・復習など)が身についている。



(ザックリとした用語解説)

「令和の日本型学校教育」は、2021年1月にされた中央教育審議会の答申「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して~全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現~(答申)」の中に登場した言葉で、未来に向けて目指す学校教育の姿です。